

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [大阪府立貝塚高等学校] 担当教諭名 [大高 陽子] (3年選択美術 13名)
 交流相手国 [メキシコ]
 海外学校名 [Prepa Tec Cumbres] 担当教諭名 [Elsa Yliana Iruegas, Carlos Bejos]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間	美術Ⅲ	海外の学生と壁画を作ろう	32

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	メキシコと日本の文化
絵に込めたメッセージ	メキシコと日本について調べていると、昨年のオリンピックのサッカー(男子)でメキシコ対日本の試合が行われたことを知りました。そこで、そのサッカーを通じて、日本とメキシコの文化がお互い交じり合えたら面白いだろうなあつという気持ちを込めて、お互いの文化を紹介する作品にしました。真ん中のサッカー選手を澤選手にしたのは、当時、東日本大震災が起こり、日本が大変な時期に彼女たちが活躍してくれたことで、日本に元気を与えた姿に感動して、どうしてもその彼女たちの姿を描きたいという生徒の声があり澤選手を描くことにしました。なでしこジャパンのように、私たちの作品も誰かに元気を与えられたらいいなと思っています。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今回の経験をきっかけに、メキシコをはじめ海外に興味を持ち自分たちで様々なこと(メキシコのことや日本のこと)を調べてくるようになりました。また、メキシコの生徒に負けたくないという意識もあり、制作も普段の授業以上に積極的に取り組んでくれました。	学力的な部分で自身のない生徒が多く、相手国から送られてきた英語の手紙やビデオレターを見て、コミュニケーションの困難を感じたようです。ビデオレターの返事も英語をしゃべれないからと嫌がり、また、英語の手紙も自信がないとのことで、返事を送ることができませんでした。コミュニケーションの部分でもっとサポートしてあられたら良かったのですが私自身も自信がない分、力になれず語学が大きな課題と感じました。本校のパソコンやLANの設備があまり整っていない為、様々な点で困難を感じました。設備と知識を充実させることが本校での課題です。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
校内、文化祭や教科発表会での展示	残念ながら、何も反響がありませんでした。校内で展示をしても、このような活動に参加させていただいていることを知らない人も多く、残念に感じました。教科での活動が注目を浴びにくいのもっと工夫が必要だったと反省しています。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月上旬	メキシコについて調べ学習	楽しんでメキシコのことを調べていました。 興味をもって活動していました。	美術Ⅲ
情報収集	9月下旬	自己紹介カードの制作	恥ずかしがって嫌がる生徒もいましたが、全員制作することができました。語学に自信がない生徒が多く7割の生徒は日本語とイラストで描いていました。	美術Ⅲ
テーマ検討	10月上旬	下絵の制作と絵のモチーフ選び	下絵は相手校のエントリーシートを見ながら考えていました。絵のモチーフ選びは、生徒各自にテーマを与えたのでそれぞれが責任をもってモチーフを考え下絵を制作してくれました。一部の生徒はやらされているという感じの反応でした。	美術Ⅲ
制作	10月下旬～11月	壁画制作	大きなキャンバスに少し盛り上がりましたが、「大きい=しんどい」と言ってみんどくさいという反応でした。しかし、文句を言いながらも、メキシコの生徒に負けたくないと言って、頑張って制作に励んでいました。色や立体感にかなりこだわって制作していました。予定日に完成しないと感じた生徒の数人が放課後來て制作してくれました。	美術Ⅲ
鑑賞		1月中旬以降生徒は登校しない為、完成を見れず、鑑賞することができませんでした。	卒業後にたまたま来た生徒が、展示している完成作品を見て、相手校が制作した絵に感想を言っていました。作品から相手国の文化を知れて、おもしろかったと言っていました。また、良く分からない絵が何なのか調べてみたりして、絵を通じて、より一層メキシコに興味を持てたようです。	

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	5	⑤・4・3・2・1	絵のテーマを考える際、自分たちの地域発祥の物語を調べたり、自文化を見つめることができていた。
異文化の理解	1	5・④・3・2・1	「メキシコってどこにあるん？」から始まり、各自で場所や国旗、言語など様々な文化を調べ、興味を持って異文化を調べていた。鑑賞ができたなら、より相手国の文化を理解することができたと感じる。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	2	5・4・3・②・1	絵で伝えることはできるが、英語になると、嫌がってコミュニケーションができなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)		5・4・3・②・1	情報機器の設備が充実しておらず、各自のケータイでの情報収集のみの活用でした。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	3	5・4・③・2・1	相手校の生徒に絵を送るということは抵抗なくできたが、英語で手紙を書く、英語でしゃべって動画を撮るといったのは嫌がり言語でのコミュニケーションは全くできなかった。講座内では、協力して制作することで、今まで以上に仲良くなった。
協働する力 (役割分担・協力)		⑤・4・3・2・1	制作に自立支援生もいたこともあり、それぞれが得意の分野の仕事を振り分け、全員が協力して制作に挑むことができた。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	壁画の制作が完成した後も、相手国の生徒に年賀状を送るなどのコミュニケーションを行った。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	4	⑤・4・3・2・1	壁画のモチーフ選びなど、相手に伝えたいことをそれぞれが考え制作できた。イラストや年賀状といった絵でのコミュニケーションを図った。
作品を鑑賞する力		5・4・3・2・①	時間が足りず、鑑賞することなく相手国に送ってしまった。また、作品が届いたのが生徒が卒業してしまった後なので鑑賞することができなかった。